

第1号

作並小学校に関する地域懇談会ニュース

第1回懇談会を開催しました



平成30年7月4日(水)18:30~20:00
会場：作並小学校2階会議室

地域の代表者や保護者で今後の作並小学校のあり方について話し合う地域懇談会（1回目）を7月4日に開催しました。

また、懇談会に先立ち設置準備会を開催し、設置目的・運営方法等についての規約が定められ、町内会役員等から12名、保護者から12名、教育委員会から1名の合計25名の委員が選任されました。

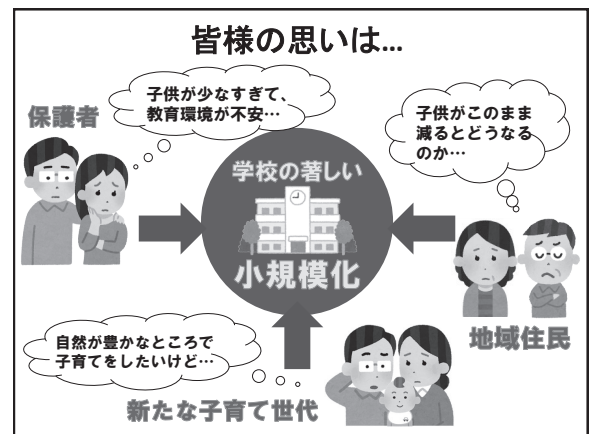
作並小の存続・統合を判断する大切な話し合いですので、学区にお住まいの皆様にご当日の様子についてお知らせいたします。

1. 教育委員会からの説明「地域活性化と学校統合」

作並小学校の小規模化に伴い、これから地域及び保護者の皆様、教育委員会において、作並小学校のあり方についての検討を始めます。作並・新川地域が地域活性化の取組みを進める中、学校統合はその流れと逆行するものではないかというご意見を頂いており、第1回懇談会では、学校統合と地域活性化の取組みの関係について、教育委員会の考えをご説明しました。

学校の小規模化が進むと…

子供が少なくなり学校の小規模化が進み過ぎて、教育環境に不安を抱えている保護者の方も少なくありません。このまま子供を入学させるか悩んだり、やむを得ず、転居などを考える保護者の方もいるようです。転居する方が出てくれば、将来的に地域活動への参加も減ってくる懸念があります。



また、自然が豊かな地域で子育てをしたいため、郊外に移住を検討している保護者の方にとって、子供の教育環境は気になるでしょう。小規模化が進行している学校だと不安を感じ、移住をためらう要因の一つになることも考えられます。

一方、地域の方々にとっては、小規模化により学校が閉校してしまうと、地域コミュニティが失われ、地域に活気がなくなるのではという不安もあるのではないのでしょうか。

地域活性化と学校統合の関係は…

学校が統合すると、スクールバスで子供たちが一緒に安全に通学するようになり、また、多くの友達と教室で学ぶ子供たちの様子を見ることができるようになります。保護者の方は、教育環境への不安が解消・緩和されることで、好きな地域で生活を続けて、そして、地域や子供たちの将来のために、地域活動に参加することでしょう。



また、郊外に移住を検討している新たな子育て世代の方は、子供たちがスクールバスで通学していることを知れば、安心するでしょうし、地域の方や保護者の仲間たちが地域活性化にも取り組んでいることを知れば、その地域を魅力的に感じることでしょう。

地域の方々にとっても、若い世代の方々が子供の教育を心配せずに生活し、地域や子供の将来のために地域活性化に取り組むことにより、住みやすいまちになるのではないのでしょうか。

学校統合も地域活性化も、地域に住んでいる方々が住みやすく、住み続けたい地域にしていくという点では、目的が共通していると考えられます。教育委員会では、学校統合と地域活性化への取り組みは、逆行するものではないと考えています。

2. 意見交換の主な内容

地域活性化との関係について

地域委員：「地域を活性化して若い世代が住みやすい魅力あるまちづくりを」との説明があったが、学校が近くにないと移住を検討している子育て世帯も来ないのではないかと。

教育委員会：住宅地への移住であれば近くに学校があるかどうかは重要かと思いますが、自然豊かな地域で子育てをしたいと移住を考える方にとっては、近くに学校があることよりも、登下校の手段の方が大事ではないかと思えます。

地域委員：移住する人にとっては、近くに学校があるかないかは関係ないのではないかと。小規模校が近くにあるより、ある程度の人数がいる学校にスクールバスで通えた方が人が来ると思う。

子供たちの現状について

地域委員：今日は子供たちが置かれている状況の話が出ていない。この時間も子供たちはどうなるのかわからないまま中途半端な状態にいる。地域の方にも子供たちの現状を知って欲しい。

地域委員：作並町内会の臨時総会を6月24日に開催して保護者の声を紹介したところ、地域の皆さんも子供たちの事は心配していた。地域でも考えているので、心配しないでほしい。



作並小学校の授業風景
(最も児童が多い学年)

児童を増やす方策など

地域委員：作並町内会の臨時総会は統合問題を議題にした。児童が減少したからといって簡単に統合するのは納得できないという意見があった。

教育委員会：作並小学校の場合、これまでは統合は検討せず、近隣校と合同で授業を行う交流学习を実施して教育環境を確保してまいりました。しかし児童の減少が進行してきたことから、保護者や地域の皆様とこれからの学校のあり方について検討を進めることといたしました。

地域委員：児童が多い地区から作並小学校に連れてこられないか。

教育委員会：隣接校が大規模校の場合は、学区を修正し児童数の確保を検討する場合があります。

地域委員：作並小学校に学区を越えて入学したい人がいないかアンケートを取ってみるつもりはないか。

教育委員会：「小規模な学校も良い」という声もありますが、実際に小規模校へ転校したいという相談を受けたことはないので、アンケートを取る考えはありません。

地域委員：上愛子小学校も児童数の減少が進んでいるのではないか。児童数の推計などはあるのか。

教育委員会：作並小学校と上愛子小学校が統合すると、児童数は約100名となります。作並小学校に100名ほどの児童がいたのは平成元年頃で、約30年間で20名弱に減少しています。今後5～10年で著しく減少することはないと考えています。

スクールバスについて

地域委員：スクールバスを出した場合、運行ルートは国道48号線までとなるのか、各地区まで来るのか。また、地域の高齢者も一緒に乗れるようにならないか。

教育委員会：基本的に全部の地域を回るという考えでいます。また、児童以外の同乗については現状では難しいものの、他の市町村でも共通する課題ですので、国の動向を見ながら検討したいと考えております。

地域委員：スクールバスが運行されると、市営バスの八ツ森線に児童が乗らなくなり、廃止が不安。交通局との話し合いは行っているか。

教育委員会：現段階では交通局との話し合いは行っていません。しかし、統合が決まった際には話し合いの場を持つ必要性はあるのではないかと考えております。

地域委員：八ツ森線は既に土日の便は全てなくなっている。これからもこの地域に住んでいく立場としては、ある程度の路線バスは確保してほしい。

地域委員：スクールバスが出るのは良いが、中学生は市営バスでの通学であり不安。

地域コミュニティについて

地域委員：良い教育環境で教育を受けさせたいというのは理解できるが、地域コミュニティにとって作並小学校の役割は大変大きい。統合までの道筋を示してもらい、地域の課題を整理してはどうか。

教育委員会：教育委員会としては、皆様から疑問点を出していただきながら話し合いを重ねていきたいと考えております。地域コミュニティとの関わりも重要なテーマですので、次回の懇談会のテーマにしたいと思います。

3. 次回の懇談会について

- (1) 日時 9月5日（水）18:30～20:00
- (2) 会場 作並小学校 2階 音楽室
- (3) 内容 地域コミュニティと学校統合 ほか
- (4) 傍聴について

①懇談会開始10分前までに受付（1階昇降口）へお越しください。

②委員の協議により、一部非公開となる場合がございます。

③傍聴に関して守っていただくルールがございます。

仙台市教育局 学校規模適正化推進室

住所：仙台市青葉区上杉一丁目5-12 上杉分庁舎11階

TEL：022（214）8432 FAX：022（264）4428 Mail：kyo019031@city.sendai.jp